

経過	手術前日	手術当日(術前)	(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	退院後の治療計画
日時	(/)	(/)				(/)	
達成目標	手術・麻酔に関する不安の表出ができる	不安なく手術を受けることができる	合併症の出現がなく、血圧が安定する痛みがコントロールできる	発熱がない痛みがコントロールできる食事が5割以上摂取できる		→ 退院後の生活に対する不安がない	
治療 処置	今飲んでいる薬を看護師に渡して下さい 睡前に、下剤の薬を服用します	血圧や心臓の薬をお飲みの方は点滴を行います 医師の指示のもとお飲みください 術衣に着替えます 血栓予防のために弾性ストッキングをはきます 点滴は手術室で行います		主治医の診察があります 傷口の観察をします		→	退院後、指定された日に受診をしてください お薬があれば続けて内服してください
薬剤			痛みがある時は痛み止めの使用ができます				
検査	手術に必要な検査を行います			採血をします			
安静度	制限はありません	歩行または車椅子で手術室へ行きます	状態に合わせて動くことができます 看護師が付き添います	制限はありません 積極的に動いてください			
食事	夕食は食べれます 以後は絶食になります	食事は食べれません 食事 水分は()時まで飲水可能です	水分は1時間後より飲めます 食事は主治医に確認後、摂取できます				退院後の療養上の留意点
清潔	入浴できます おへそをきれいにする処置を行います	入浴できます		シャワーができます	→	入浴できます	・便秘をしないように、水分摂取・適度な運動を心がけましょう
排泄	トイレまで歩行可能です	手術の前までに排尿・排便を済ませておいてください	痛みに応じて、ポータブルトイレに移動できます				・傷のテープが剥れたらそのまま大丈夫です
教育 指導 説明	病棟看護師からの事前説明があります 手術・麻酔の同意書にサインをして看護師に渡してください	手術の前には身につけている貴金属を外してください (指輪、時計、入れ歯)	痛みや吐き気・気分不良があつたら、すぐにナースコールを押してください				・高熱や傷が赤くなるなどの時は予約前に受診をしてください
服薬指導	持参されたお薬の作用、副作用について薬剤師が説明を行います 新しく薬が出た場合は、内服方法や作用・副作用について説明します						
栄養指導	あり なし						
観察	腹部症状や不安の有無の観察を行います	→	バイタルサイン、傷からの出血や痛みの観察を行います	発熱や傷の痛み、岸径部・陰嚢部の腫脹がないか観察します	→		
在宅復帰支援計画	() 病状の安定を図り、安心して生活する為の支援を行います。 () 日常生活動作が維持できるような環境設定の提案や介助方法等を家族・療養にかかるスタッフへ指導します。 ()						

主治医 :

印

令和 年 月 日

師長 :

本人または家族の承諾サイン:

担当看護師 :

【在宅復帰支援担当者】津田 香月 【担当MSW】4階北(香月) 5階北(緒方) 3階南(栗津) 4階南(増永) 5階南(中村)

【担当管理栄養士】4階北(吉村) 5階北(松本) 3階南(吉村) 4階南(高宮) 5階南(高宮)

*注

入院期間は現時点での予測されるものです 病名などは現時点での考えられるもので 今後検査などを進めていくに従って変わりうるもので